

幸手市子ども議会

「未来へのメッセージ」私が思う「笑顔で暮らせるまち・さつて」

1月30日(火)幸手市役所議場で令和5年度幸手市子ども議会が開催されました。近い将来、幸手を担う子どもたちが、自分の住むまちの姿をよく見詰め、住みよいまちづくりのため、自分たちの意見や希望を提言することにより、子どもたちの市政への関心を高めることを目的として、毎年開催しています。

当日は、市内小中学校から選出された12人の子ども議員から一般質問をしてもうりました。

また、中学生議員には議長として、議事の進行も務めてもらいました。子ども

議員からは、普段の生活の中で困っていることや気になっていることなど、さまざまな質問がありました。

さらに、教育長との意見交換の時間には、「最初は緊張しましたが、しっかりと意見を言うことができました」「他の人の質問が、いろんな視点で考えられていて勉強になりました」などの感想がありました。

子ども議員のみなさんは、この議会を通じて、政治を身近に感じるとともに、まちづくりに進んで参画しようとする意欲が高まったようでした。

▼本議会の一般質問

- ① 芦葉椿輝議員 「幸手駅周辺の活性化について」
- ② 井藤龍希議員 「フードロス問題について」
- ③ 栗田理央議員 「体育館の冷房施設について」
- ④ 山田愛歩議員 「幸手市人口ビジョンについて」
- ⑤ 湊合知香議員 「幸手市電子図書館の設置について」
- ⑥ 清水咲希議員 「吉田幼稚園跡地利用について」
- ⑦ 張ヶ谷莉桜議員 「幸手のまちづくりやPR活動について」
- ⑧ 岡田紗季議員 「ミニのポイ捨て問題への取組について」
- ⑨ 遠藤菜穂子議員 「市の公共交通の在り方について」
- ⑩ 羽生田百葉議員 「ジェンダー平等の取り組みについて」
- ⑪ 渡邊隼議員 「幸手市のお年寄りとの交流の活性化とそのための施設の利用について」
- ⑫ 渡邊優奈議員 「本市の日光街道の活性化について」



▲子ども議員の発言内容、市の回答などはこちらから見られます。

とどけ!


⑪


⑫


⑬


⑭

未来への
メッセージ!


⑮


⑯


⑰


⑱

僕たち、
私たちの


⑲


⑲


⑲

大好きな
幸手へ。


⑲

子ども大学 さつて

1月27日(土)～2月24日(土)5回にわたり子ども大学が開催されました。2月3日(土)は連携交流協定を結んでいる入間市の博物館(A-LIET)でお茶の歴史、おいしいお茶の淹れ方などについて学習しました。

◆子ども大学のねらい

- (1) 幸手市の特徴、魅力を知ってもらうための取組について考え、郷土への愛着と関心を高める。
- (2) 「いるティームさつちゃんフレンドリー」協定を結んでいる入間市を訪問し、幸手市と入間市の特色を考察する。
- (3) 市内の大学および事業所から講師を招き、専門家の講義を通じて知的好奇心や探究心を育む。
- (4) (1)～(3)を実践するため、それぞれの講座を取材という切り口で探究し、市民や小学生に向けての新聞を発行する。



▲入間市の学芸員の先生に入間市の台地について説明を受ける様子

◆おいしいお茶の淹れ方



お湯を冷ます



スプーン1杯の茶葉を入れる



茶碗の湯を急須に入れる



茶を注ぐ(廻し注ぎ)



お茶を味わう



▲入間市と狭山茶について真剣に学ぶ様子

子ども大学の学生たちは、新聞づくりに向けて知識を蓄積するだけでなく、味や香りなど、五感を使って入間を感じ、学習していました。学生は「狭山茶の名前の由来や地形などについて学ぶことができた」「お茶ははじめは苦かったけど、だんだん口の中がさわやかになった」と話してくれました。

問合せ 南公民館 ☎(43)6053

